

# 第24期足利市議会を振り返って 4年間の活動記録

## 平成27年

- 5月 ○第24期足利市議会がスタート。議長に黒川貫男議員、副議長に栗原収議員が就任。
- 6月 ○議会改革推進協議会を設置。議会改革に関する総合的な事項を協議・推進するための体制を整備。
- 9月 ○足利市議会会議規則を改正。女性議員が議会活動を行いながら出産できるよう、委員会等の欠席に関する会議規則の不備を補う。



- 12月 ○議会改革の一環として、一般質問における議員一人当たりの質問時間を、答弁を含めて1時間以内に



- 9月 1車いす利用者の方の議場内傍聴に対応。
- 12月 ○常任委員会に自由討議を導入。議員間の議論を深めることで議案の問題点を浮き彫りにし、さまざまな観点から論点を整理することのできる体制を整備。

## 平成28年

- 小学生が議会を傍聴。大月小学校の6年生児童が社会科見学の一環として一般質問を傍聴。



- 2月 2足利工業大学（現足利大学）との懇談会を実施。
- 全議員による市内企業（株式会社深井製作所等）の視察を実施。

- 5月 ○議長に渡辺悟議員、副議長に斎藤昌之議員が就任。

- 6月 ○5月に実施した議会報告会・意見交換会の報告書を初めて市長へ提出
- 「素通り禁止！足利」をPR。本会議においてロゴマークをプリントしたポロシャツを着用。

- 9月 ○市民会館等公共施設検討特別委員会を設置。公共施設のあり方や適正管理、有効活用等の課題について、調査・検討を開始。

- 11月 3高校生向けの議会報告会・意見交換会を初開催。
- 4議場の音響設備を一新。より傍聴しやすい環境を目指し、本会議傍聴者アンケートの声を反映。



## 平成30年

- 2月 ○全議員による市内企業（竹内産業株式会社）の視察を実施。
- 5足利市民会館・専属プロフェッショナル芸術団体「足利オペラ・リリカ」による議場コンサートを開催。
- 6観光都市宣言を決議。史跡足利学校や鏝阿寺など、本市の魅力を生かした観光都市の実現を目指す。

- 3月 ○広報広聴委員会を設置。広報及び広聴の二つの専門部会を設ける。

- 6月 ○スプリングフィールド市代表友好訪日団来訪。団長のジェームス・ラングフェルダー市長が議場でスピーチ。

- 9月 ○足利市民会館・付属芸術団体「足利ユースオーケストラ」による議場コンサートを開催。

- 足利市議会災害時BCP（業務継続計画）を策定。災害時における議会の役割及び議員の基本的な行動を定める。
- 足利市議会基本条例の達成状況を検証。延べ7回にわたる協議をへて検証結果をまとめる。

## 平成31年

- 1月 ○市議会災害対策訓練を実施。足利市議会災害時BCP（業務継続計画）に基づいて行い、課題等について検証。
- 3月 ○政務活動費を年額72万円から60万円に減額。
- 4年間の議会改革の取り組みを、第24期足利市議会改革大綱としてまとめ、市長に提出。